

モバイル利用のライフスタイル研究（4）

—ビッグデータ利用意識と生活意識変化—

○佐藤 仁（NTTドコモ モバイル社会研究所）、飽戸 弘（東京大学名誉教授）

キーワード：ケータイ、スマートフォン、ビッグデータ、ライフスタイル

【背景と仮説】

ICTの急速な利用普及に伴い生活変化を実感している人が多いと考えられる。特に近年では若年層だけでなくシニア層にもスマホが普及しており、60代でもスマホ所有者は6~7割、70代でもスマホ所有者は5割を超えている。また国内外の多くの企業でビッグデータ利用による、新たなICT分野でのサービス提供や社会での活用が進んでおり、そのことによってさらに生活に変化を与えている。ビッグデータ利用のためには、個人が特定されない形式ではあるが、個人の情報を企業に提供する必要があり、そのことに抵抗を感じている人もいる。

そこでビッグデータの利用に対する意識と生活変化の意識について、ICTを積極的に活用しており生活変化を実感している人はビッグデータの利用に対しても許容している、理解も示しているのではないかとという仮説をもとに検討した。

【調査方法】

調査時期：2019年1月 対象：全国 15-79歳
割付：性・年代（5歳刻み）、都道府県、都市区分
WEB調査、サンプルサイズ6926

【手続き】

各ユーザーの生活変化の意識に関する質問とビッグデータに関する質問の設定を用いて因子（主因子法）・クラスター分析（k-means法）で解析。その結果を元に4つのクラスターに分けた（表1）。そしてビッグデータ利用を否定的、生活変化を実感していないクラスターを「①消極型クラスター」、ビッグデータ利用は肯定的だが生活変化を実感していない人を「②データ利用容認クラスター」、ビッグデータ利用は否定的だが生活変化を実感している人を「③生活変化実感クラスター」、ビッグデータ利用に許容的で、生活変化も実感している人を「④積極型クラスター」と命名した。本クラスターを元にしてビッグデータ利用の許容と生活変化の実感について、男女別と年代別でも検討を実施。

【結果・考察】

生活変化を実感していないクラスターは①と②であり、ビッグデータ利用に肯定的な②のクラスターの割合は36.1%「=605/(605+1072)」。一方、生活変化を実感しているクラスターは③と④であり、ビッグデータ利用に肯定的な④のクラスターの割合は62.3%「=882/(882+1459)」である。これらの結果より生活変化を実感しているクラスターでは、生活変化を実感していないクラスターよりもビッグデータ利用を許容している割合が高いことが確認された。表2は、生活変化の実感とビッグデータ許容に関する年代ごとの割合である。まずシニアはビッグデータ利用の容認・否認を問わず、若年層に比べると生活変化を実感

していないことが明らかになった。そして生活変化の実感の有無が、ビッグデータ利用の容認・否認に大きく関係しているのはシニアよりもむしろ若者であった。特に20代では生活変化を実感している人は、実感していない人よりも2.3倍、ビッグデータ利用に対して許容的という結果になった。さらに年代が高くなるにつれてその差は小さくなっていき、70代だと生活実感をしている人でビッグデータ利用に許容的なのは1.3倍のみという結果になった。つまりシニアは、若者ほど生活変化の実感の有無が、ビッグデータ利用の容認・否認に大きく関係していなかった。また、ビッグデータ利用の許容と生活変化の実感には男女差があることも明らかになった。生活変化を実感しており、ビッグデータ利用を許容している割合は男性が74%に対し、女性は50%であった。女性はビッグデータ利用に対しては否定的な結果が出た。

近年、シニア層にもスマホが普及しており、今後スマホを積極的に活用することによって、シニアが生活変化を実感し、ビッグデータ利用に対して許容的になる人も増えてくる可能性がある。生活変化実感とビッグデータ利用に対する意識が変わっていくのか引き続き調査していきたい。

表1：ビッグデータ利用意識と生活変化意識クラスター分析

	①消極型 データ利用：× 生活変化：×	②データ利用容認 データ利用：○ 生活変化：×	③生活変化実感 データ利用：× 生活変化：○	④積極型 データ利用：○ 生活変化：○
ビッグデータ容認因子	-0.63	0.58	-0.95	0.80
生活変化実感因子	-0.59	-1.29	0.75	0.51
人数 (割合)	1072 (26.7%)	605 (15.1%)	882 (22.0%)	1459 (36.3%)

表2：年代別での生活変化の実感とビッグデータ利用に対する許容の割合

	ビッグデータ許容の割合		生活変化を実感している人と 実感していない人での ビッグデータ許容に対する比率
	生活変化を実感していない人	生活変化を実感している人	
10代	40.5%	73.6%	1.81倍
20代	28.4%	65.9%	2.33倍
30代	35.1%	64.6%	1.84倍
40代	33.7%	61.9%	1.84倍
50代	34.3%	55.6%	1.62倍
60代	37.8%	54.4%	1.44倍
70代	44.5%	59.7%	1.34倍
合計	36.1%	62.3%	1.72倍

【参考文献】

- [1] 日本リサーチセンター「サイバーパネルを活用した自主調査：今を読む～時代感覚アップデート」（2019年10月）
<https://www.nrc.co.jp/news/191106.html>
- [2] モバイル社会研究所ケータイ社会白書2019年
<https://www.moba-ken.jp/project/others/ownership03.pdf>